

2 施策の方向

項 目	施策の方向
予防対策・早期発見	<ul style="list-style-type: none"> ○保健所（支所）・市町村及び関係団体と連携し、糖尿病やCDK等の生活習慣病の発病や重症化予防の必要性について県民に広く啓発し、予防と早期発見に努めます。 ○栄養、喫煙等、生活習慣の改善に関する取組の推進に努めます。 ○市町村での岡山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施を支援し、特定健康診査の実施率（受診率）の向上や、特定保健指導の実施率（終了率）の向上に努めます。
医療連携体制構築の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○「岡山県糖尿病医療連携体制検討会議」等において、円滑な連携に対する方策や医療体制の機能整備について協議するとともに、県医師会の取組と協調しつつ、医師及びメディカルスタッフの技能の向上を図ります。 ○糖尿病患者が、質の高い医療を身近な環境で受けられるよう、地域の医師、メディカルスタッフを中心とした全県的な医療連携体制の構築をさらに進めます。 ○医科と歯科のより円滑な連携体制の構築を図ります。 ○引き続き、関係機関・関係団体と連携し、CKD医療連携体制の強化や研修等を通じた資質向上に取り組み、重症化予防を図ります。

3 数値目標

項 目	現 状	令和11年度末目標 (2029)
糖尿病が強く疑われる者の割合	男性 15.5% 女性 7.4% R3年度 (2021)	減少
治療継続者の割合	70.8% R3年度 (2021)	75%
糖尿病性腎症の新規人工透析導入患者数及び割合	268人 41.6% R3年 (2021)	減少